



Amir Tsarfati

[2021年5月12日中東時事アップデート イスラエルをめぐる戦い]

シャローム 皆さん。アミール・ツアルファティです。イスラエルのガリラヤよりライブです。皆さんとご一緒出来る事を嬉しく思います。今日は、この中東のアップデートにたくさんの方が参加してくださっています。皆さんに、私の声がしっかりと届く事を願います。技術的な問題もありましたが…大丈夫そうです。では、お祈りをして、重要なアップデートをお届けします。皆さんご存知のように、状況が通常とは大きく異なっていますから。では、祈りましょう。

お父様、あなたが全てを担っておられる事に感謝します。あなたはアルファでありオメガ、始まりであり終わり、アレフでありタヴであられ、あなたを驚かせるものは何もなく、誰もいません。誰も、あなたを御座から降ろす事も、あなたを驚かせる事も出来ません。お父様、あなたは全てをご存知で、全知であられるあなたは、ここで起こっていることも、全てご存知でした。父よ、聖霊の力を通して、何が起こっているのかだけでなく、私たちが生きている時代と季節を理解出来るように助けてください。また、あなたの御言葉と、あなたの約束を通じて私たちに希望と励ましをお与えください。あなたに感謝し、あなたを祝福して、このお祈りをイスラエルの聖なる方、イエシュア・ハマシアハ、イエスの御名でお捧げします。アーメン。

シャローム皆さん。アミール・ツアルファティです。皆さんとご一緒出来て、とても嬉しく思います。念のためにお伝えしておきますと、この中東のアップデートがうまくいくことを願いますが、もし、空襲サイレンが鳴ると、この画面上から私は消えて、避難しなくてはなりません。ハマスは現在、超激怒、超イライラしています。理由はたくさんあって、それについては、すぐにお話しします。しかし、その前にお伝えしたいのは、皆さんが知らないであろう事が、多くあります。私たちに見えるものがあり、私たちには見えないものがあります。私たちが今から見ていくのは、驚くべき収束があるということです。といっても、あっちこっちの本から取り出した、聖書預言の収束の話ではなく、様々な出来事の、驚くべき収束の話です。皆さんも、そのうちのいくつかは、気づいているかも知れませんが、他の部分は、気づいていないかも知れません。そして、パレスチナのジハードと、ガザのハマスの間で、この破壊的状况をもたらしたものが、その収束です。それでは、まず、収束そのものについて、お話ししましょう。

〈地域を理解する——パレスチナとは？〉

しかし、その前に、皆さんに一つ説明したいと思います。まず、地域を理解してみましょう。…多くの方が理解していませんから。ハマスとは何で、パレスチナ自治政府とは何なのか。何故、異なる2つがあるのか？何故、こっちはあっちを批判するのか？彼らは両方パレスチナ人ではないのか？

では、この小さな地図をご覧ください。イスラエルは、この地図よりも、はるかに大きいですが、しかし、見ての通り、ハイライトされた領域は、西岸地区は、マフムード・アッバスが大統領のパレスチナ当局がいる場所で、



ガザとヨルダン川西岸地区の位置

地図の東側、ガザは、地図の下、西側の小さい縦長の地域です。これらは、パレスチナ人が大半を占める2つの地理的領域です。次に、皆さんに理解していただきたいのは、西岸地区は、パレスチナ自治政府が支配していて、もう一方は、ハマスが支配しています。両者の違いは何か？パレスチナ自治政府は、ファタハと呼ばれる政党が基盤で、基本的には政治運動で、PLO（パレスチナ解放機構）として知られ、彼らは、パレスチナを解放し、独立国家を作りたいと考えています。ですから、それは国家主義者の国民運動で、彼らは国籍を求め、パレスチナ国家を望んでいます。彼らとハマスの違いは何か？ハマスは宗教団体です。彼らはこの国が何と呼ばれようと全く関心がありません。彼らは、イスラムを広め、イスラムが世界を支配することを望んでいます。そして彼らは、ムスリム同胞団の一員です。大きくいうとそういう事で、彼らはイスラムの筋書きに興味があるのであって、必ずしも、国家的な筋書きではありません。これを、しっかりと覚えておいてください。何故なら、エルサレムに関して、彼らはイスラム教の宗教的な筋書きが全てであって、他の何でもありませんから。

さて、次に理解して欲しいのは、パレスチナ人は、完全に分裂しています。これはガザの政府で、あちら西岸地区にも、政府があります。2人の首相、2つの政府があって、彼らはお互いの根性を憎んでいます。それも覚えておいてください。その事が、今、私たちが見ているものに、大きく関わって来ますから。見てください。この紛争全体が、イスラエルとは何の関係もないのです。イスラエルとは、一切関係ありません！すぐに分かります。さて皆さん、これらが2つの実体である事を理解するのは、非常に重要です。

〈収束〉

では、最初にお話しした「収束」についてお話ししましょう。ただのパレスチナ人だけではない、収束。さかのぼる事、2020年11月…これが、すべての始まりですから。2020年11月、米国で選挙がありました。私たちは皆、何が起こったのか知っています。私はそれを繰り返すつもりはありません。今ここで、Facebookのアルゴリズムに引っかかるワケには行きませんから。ともかく、第45代大統領は、大統領を続けることを許されず、そして、第46代大統領は、彼が就任宣誓する前でさえ、彼の中東観は全く異なる事を、すでに明確にしていました。彼の、イランに対する見解は異なり、パレスチナ人に対する彼の見解も異なり、エジプト、トルコ、サウジアラビアに対する彼の見解は、全く異なります。いいですね？これが、今あるものです。新政権にとって、中東は、もはや重要な存在ではない。そのために、先週のアップデートでお話しした通り、米国が、中東を去っています。覚えていますか？まだご覧になっていない人は、先週の中東のアップデートを観てください。ということで、それは新しい政権、新しいアプローチから始まります。そこでは悪者にトロフィーが与えられ、善人が罰せられています。

さて、この収束全体に関する次の事は今日がラマダンの最終日である、という事実です。ほんの1時間前に、新月が見られました。つまり、明日はイド・アル＝フィトルの初日で、ラマダンの終わりです。ただ、ラマダンは、イスラム教徒にとって神聖な月で、その1ヶ月間、断食と祈りと特定の事を控える事に捧げられます。だから、アルコールや、薬物、女性、何であれ何かのにめり込んでいる人は、ラマダンの間は、それが出来ません。だから、想像出来るでしょう。それをずっとして来た人達が、まる1ヶ月間それが出来ないと、どれほどイライラするか。

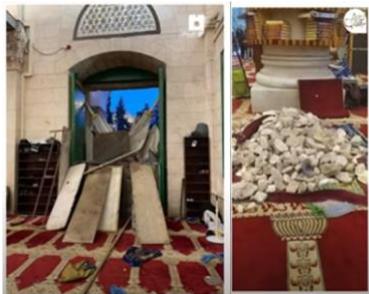
さて、ラマダンといえば、皆さんは想像してこう考えるでしょう。

「祈りと断食の神聖なる月なら、きっとその月、人々がもっと神に近づき、もっと霊的に、もっと優しく、もっと良い人になるんだろう。」

ところがなんと、ラマダンの初日から、私たちは非常に異なるものを見ました。私が、初日からここでそれを報告して来た通り、エルサレムのパレスチナ人の若者に“命令”が出されました。

「電車の中や、路上、至る所で、彼らが祈っていようと、歩いていようと、どこへ行っても、ユダヤ人に対して嫌がらせを始めろ。」

その命令で、衝突を巻き起こし、そして、その衝突が巻き起こっている間に、「イスラエルの警察が来ると、我々は彼らを占有者として映し、それから、それを次のレベルに持って行く。」その次のレベルとは、別の場所、神殿の丘です。それについては、この後お話しします。



神聖であるはずのモスクに、
バリケードと大量の石！



礼拝所？戦闘地帯だ！



神殿の丘のモスクから、西壁の
ユダヤ人たちに投石攻撃

さて、皆さん、もう一つ理解していただきたいのは、皆さん、理解してください。ラマダンとは、祈りをする月です。それが、いったい全体なぜ、祈りの月間に、世界の第三聖地にあるモスクに、こんなものを保管しているのか？ラマダン最後の週の神殿の丘にあるモスクの中をご覧ください。バリケード、大量の石…ここは、彼らが祈るカーペットです。彼らがしている事を見てください。これ、見て下さい。そこは戦闘地帯です。

ところで、イスラエルの警察は、彼らが祈っている間に、神殿の丘に入って、介入することはありません。なぜそれをする必要がありますか？しかし、警察は、いつ入ったのか？暴動が始まった時、それらの岩が、下の西壁に居るユダヤ人の崇拝者と、イスラエルの警備員に投げられた時です。その時、彼らはそこに突入して、止めなければならなかったのです。その時、カメラの電源が入り、そして全世界が、世界で3番目に神聖なモスクの横での抗争を映したのです。

「イスラエルが神殿の丘を占領し、戦いが起こっていると、全世界に示そう！」

それから、階段の横にある、このポスターを見てください。これらはハマスの指導者です。つまり、このすべては、始まりもしていない内から、ハマスが、周到に準備していたということです。このすべては、何かをするためです。では、これを見てください。まだ終わっていません。「収束」に戻ります。ラマダンについて話しましたから、次は、同時に…繰り返しますが、「収束」とは、何かが集中するポイントです。



周到に用意されていたテロ。
ハマスの指導者たちのポスター

もう一つ別のポイントは、旧市街からそれほど遠くない、シェイク・ジャラと呼ばれる場所です。シェイク・ジャラは、綺麗な家が並ぶ所で、1800年代に、ユダヤ人が、そこに家を購入し建てました。その後、ヨルダンが来て、1948年に、エルサレムの半分を占拠し、ユダヤ人の家は、パレスチナ難民に貸し出されました。

よく聞いて下さい。ヨルダンが1967年に追い出された後、ユダヤ人は、自分たちの家を取り戻す事を望み、パレスチナ人は裁判所に行き、裁判所は彼らが所有者に家賃を支払う場合にのみ、滞在することを許可しました。所有者であるユダヤ人は…ところで、彼らは、それが自分たちの家であることを、証明しています。彼らはオスマン帝国からの書類を持ってきて、それが彼らのものであることを、証明したのです。早い話が、長年にわたって裁判所の判決は、彼らの中の少なくとも12家族は、家から撤退しなければならない、と告げました。これらはパレスチナ人の家ではありません。これらはユダヤ人家族の家で、それをパレスチナ人が、1948年～1967年の間に取ったのです。そして裁判所は、それらはユダヤ人の所有者に返すべきであると、決定しました。さて、世界のメディアは、どのようにそれを伝えたか？

「イスラエルが、パレスチナ人を家から追い出している！」

「イスラエルが、パレスチナ人を追い出し、彼らの家を盗んでいる！」

皆さん、そうではありません。イスラエルの法制度は、世界から高く評価されています。だから、それは全く違うのです。さて、ハマスは言います。

「ほら、状況を作り上げて、悪く見せる事の出来る場所がもう一つある。」

それで足りないなら…「収束」と私は言いましたね？ご存知でしたか？西岸地区のパレスチナ人、彼らの大統領が、選挙を発表したのです。さて、選挙が行われてから、しばらく経っていますが、彼は長年、当選せずに大統領を務めています。しかし、ガザのハマスは言いました。

「よし、今こそ、西岸地区を占領するチャンスだ！」

「我々はめっちゃくちゃ人気があるのだから。」

それで、誰もが喜んでいて、そして、マフムード・アッバスが、自分は選挙で負けるであろう事を理解したとき、彼は、何をしたと思いますか？彼は選挙を延期、もしくはキャンセルしました。それは尋ねる相手によって異なります。ハマスは、激怒しています。

「我々は、西岸地区も取ることが出来たのに、今、それは我々から取り上げられた。」

「我々は人を獲得しなければならない。我々は、クーデターか何かしなければ！」

「収束」です。そう言いましたね？



イスラエルの「エルサレム・デー」

それで足りないなら、ラマダンの最後のまさにその週、イスラエルは、イスラエルが過去 50 年間行ってきたように、「エルサレムの日」を祝いました。「エルサレムの日」とは何か？イスラエルのエルサレムの日は、都市の再統一を祝う日です。1967 年…覚えていますか？私たちは、ヨルダンからそれを取り戻しました。その日を私たちは祝います。巨大な国旗！実際に、ユダヤ人の若者のムーブメントで、全国からやって来て、私たちは、旗を持って旧市街の周りを踊り始めました。これは、パレスチナ人とは何

の関係もなく、ラマダンとも、何の関係もありません。ラマダンは、毎年、日が異なりますが、エルサレムの日は毎年、同じ日です。だから、パレスチナのハマスは言いました。

「うーん、ラマダンがあつて、選挙に対する不満がある。それからシェイク・ジャラ事件があつて、その上、イスラエル人のエルサレムの日が、来ている。ふむ…」

そこで、何が起こったかと言うと、その間に…私が最初に言った話をする前に、最後にもう一つ、神殿の丘は、間違いなく、パレスチナ人がそこにいる、と考えられています。しかし、言っておきますが、ヨルダンが所有権を主張していて、サウジアラビアが所有権を望み、トルコが所有権を望んでおり、そしてパレスチナ人は、神殿の丘の地主になることを狙っています。神殿の丘は、紛争地域です。ユダヤ人だけでなく。

だから、これを見てください。ハマスは言います。

「ほら、我々が舞台を整え、そして、我々が神殿の丘を解放する。したがって、我々が所有者だ！」

「我々が解放者だ。」

これで、何が起こったのか、理解出来たでしょう。ハマスは決めました。

「そうだな、最近、あまりにも多くの事が起こり過ぎている。我々は、全世界とパレスチナ人に示すのだ。

『我々は、エルサレムのパレスチナ人、我々の兄弟姉妹を助けにやって来た。』」

それで、彼らは何をしたか？彼らは、エルサレム地域に向かって 5 発のロケットを発射しました。誰かを助けるためにロケットを送る人間など、聞いたことがありません。でも多分、私が変わり者なのでしょう。ところが、皆さん、「エルサレムの日」をイスラエルが祝っている最中に彼らは、エルサレムにロケットを送ったのです。

そして、何が起こったか？彼らは、イスラエルからの、非常に、非常に穏やかな報復を期待していました。正直なところ、これまで我々は非常に穏やかな方法で報復していましたから。だから彼らは、物事を現金化したかった…ほら、選挙が迫っていて、我々は、モスクの守護者だ！だから…ということで、皆さん、彼らは、その後起こる事を、考慮に入れていなかったのです。

〈今回の紛争を手引きしているのは…〉

さて、次に進む前に、一つお伝えしますと、パレスチナ人を差しおいて、現在起こっている、すべての事を手引きしている手があるのです。皆さん、それを覚えていてください。その手引きする手は、ラマツラーにはなく、ガザでもなく、他にもないテヘランにあります。イランが、手引きしている手です。私たちは、それを知っています。ところで、私はそれを何度も報告しました。イランは、自分たちが外部からイスラエルを攻撃できないことを、理解しています。だからイランは考えました。

「それなら、我々は内側からイスラエルを攻撃する。イスラム聖戦やハマス、その他に暴動を開始するよう命令を出そう。イスラエルの内部、パレスチナ地域から。そうして、イスラエルは苦しむのだ。」

さて、皆さんにお伝えします。もう一つ、恐らく皆さんが知らないであろう事、選挙があるのは、パレスチナ当局だけでなく、イランでもあります。イランで選挙があつて、しかも、それが間近に迫っています。そして、イランでは、指導者の誰一人としてイスラエルを愛していません。しかし、彼らの間で分裂していて、「穏健派」これは、あまりたくさん人を殺さない人たち、それと、本当の極悪人である超強硬派で、これは革命防衛隊や、アヤトッラー、アフマディーネジャード、それらのすべてです。そして彼らの全員が、自分が操り、自分の力を誇示したくて、それぞれが、自分こそがイスラエルに恥をかかせる事ができると示したいと思っています。イスラエルを辱める目的は、そこにいるすべての人を、一致させるのです。だから、イランの選挙も、ここで非常に重要な役割を果たして、彼らは、中東全域で威嚇し、そして、米国の政権がそれを可能にする事を期待しています。確かに、彼らはそれをしました。

そして今、皆さん、これも理解してください。エルサレムの日を祝うのは、イスラエルではありません。皆さん、ご存知でしたか？毎年、ラマダン最後の週に、テヘランとイラン全土でエルサレムの



イランの「エルサレム・デー」

日を祝っています。イランにも、エルサレムの日があるのです。しかし、イランのエルサレムの日とは、何なのか？これが、イランのエルサレムの日です。アメリカ国旗を燃やし、イスラエルの旗を燃やし、そして世界に見せる。ほら、これがエルサレムの日です。それは、彼らがエルサレムを取り戻すことを誓っている日です。

これらの「収束」を見てください。イランのエルサレムの日、イスラエルのエルサレムの日、ラマダン、国民に選挙を見せたい者もいれば、他方は、選挙に勝ちたい、誰もが忙しく… これはもってこいだったのです。

〈イスラエルがハマ스에反撃する理由〉

さて、私はお伝えしたと思いますが、ハマスは長い間、そのすべてを計画していました。しかし、イスラエルは、ただ出て行って、突然ハマスを爆撃することはできませんでした。私たちには、それを行うための大義名分が必要だったのです。理由がなければ、私たちはそれができません。だから、ハマスが撃った5発のロケットは、私たちが長い間やっていないことを行うのに十分でした。さて、テレグラムで私をフォローしている方は、ここ数日、私が毎日ビデオや写真、情報を送信しているのをご存知でしょう。これまでに、3棟の高層ビルを破壊し、さらにあと、7棟ほどが崩されるでしょう。と言うと、皆さんは、おそらく思っているでしょう。

「なぜ、高層ビルを破壊するのか？」と。それは、

(A) 建物全体を、ハマスが所有しているか、

(B) または、下層部分が、ハマスの活動に使用されているからです。

そして彼らは、自分たちがそこにいれば、誰もそこを攻撃しないだろうと期待しているのです。ところがなんと、イスラエルには、「knocking on the roof (屋根をノックする)」と呼ばれる、興味深いものがある、イスラエルのF-16は、小さなロケットを送ります。それには、何の破壊力もありませんが、しかし、大きな爆発音と少し煙を発生します。それが「knocking on the roof (屋根をノック)」と呼ばれるもので、私たちは、その小さなミサイルを送り、住民に、離れるように言っています。実際、それだけでなく、私たちは私たちの携帯電話を使ってアラブ語を話すイスラエル軍部隊の兵士が、それらの建物に電話して、住民に出て行くように言うのです。2分以内に、百発のロケット弾を撃つパレスチナ人とは異なり、私たちは、彼らに出て行くように言い、建物の住人が避難したら、私たちは、ただそれを破壊するのです。皆さんは思っているでしょう。

「なぜ、避難させるんだ？」

我々は、ハマスのインフラに害を与えたいからです。我々は、我々なりのやり方でテロリストを始末し、我々は、確実にそれを行います。これを見てください。私たちは、彼らが車に乗っていて、ある場所から別の場所へと走っている時に、彼らを殺害します。この車は、そのうちの1台で、他にも非常にたくさんあります。今日だけで、私たちは20人を殺害しました。写真をご覧ください。そのうち6人は、彼らはトップで、左側のヘブライ語で書かれているものは、ハマスの職員、ハマスの指導者のトップリストに載っています。これは軍の指導者です。我々は彼らの内の6人を殺害し、その後、昨日は、さらに3人を殺害して、今日、その6人の他に、さらに5人を殺害、その後も、どんどん殺害しています。



ピンポイントで車移動中のテロリストを狙い撃ち



イスラエルによって始末されたハマスの職員6人と、3人の指導者



ハマスが発射した1050発のロケットのうち、200発はガザ地区内に落ちています。

さて、ハマスは、真実の情報を公開していません。彼らは、40人しか殺されていない、と言っています。そして、彼らは言います。

「その、殺害された40人のうち、何人が子どもで何人が女性…」

皆さん、イスラエル軍が用意したスライドをご覧ください。昨日、発射されたロケットの数、そして、そのうちの何発が、実際に目標に到達せず、ガザの中に落ちたか。昨日、1050発のロケットの内、200発が、ガザ地区内に落ち、そして、パレスチナの子どもと女性と男性を殺したのです。彼らの家の中で！彼らはロケットを打ち上げ、それが飛んで行かず、自分たちの仲間の頭上に落ちました。彼らは、それを人々に隠しますが、ありがたいことに、ガザには、ハマスには知られずに情報を公開する人権団体が、まだいくつかあります。私たちはそれを知っています。我々は、すべての打ち上げを検出しますから、そして、それらがイスラエルのどこにも落ちなかったのを見ると、それが、内側に落ちたこ



95%、ターゲットに命中する、アイアンドーム

とが分かります。イスラエル人は、アイアンドームを発明しました。これらの写真を見てください。95%成功。つまり、残りの5%は落ちて、いくつかの建物に命中した事を物語っています。

しかし、これを見てください。こういう事です。イス

ラエルが発明したレーダーは、打ち上げを検出すると、速度と角度を計算、そして2秒以内に、これがイスラエルの目標に命中するか空き地に落ちるかを知らせます。そして、もしそれがターゲットに当たるなら、我々は、パレスチナのミサイルを迎撃します。

さて、ハマスのミサイル射程を見てみましょう。ガザのあの小さな組織が、どれほどの種類のロケットを持っているか、見てください。短距離、中距離、長距離は最長で160km、ちなみに、彼らはこれよりも長距離なものを持っています。これらは、文字通りイスラエル全体をカバーしています。つまり、全てではないにしても、イスラエルの大都市は確実です。これで、昨日、テルアビブで起こった事の説明がつくでしょう。

さて、皆さんにご覧いただきたいのは、昨日のテルアビブでの出来事の動画です。ハマスが何をしたか分かります。文字通り数秒以内に、100発以上のロケットが発射されました。なぜ、彼らは、そんな事をするのか？アイアンドームが、それらを迎撃する十分な時間を与えないためです。つまり、百発発射すれば、少なくとも…よく分かりませんが、5発や10発は落ちるでしょう。もう少し多いかも知れません。動画ですが、うまくいく事を願いますが、

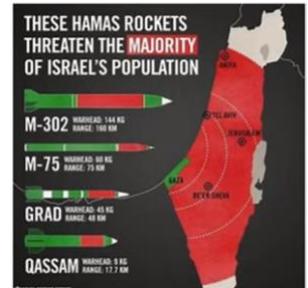
もしダメなら、テレグラムにありますから…（動画：<https://t.me/beholdisraelchannel/1722>）今ご覧になった中で、上向きに飛んでいるのは、実際に、アイアンドームが迎撃しているところです。さて、テルアビブは彼らの切り札でした。大きな切り札です。

「我々は、テルアビブを攻撃する。そうすれば、イスラエルは止めるだろう！」

ところが、どうなったでしょう？彼らは昨夜、テルアビブを攻撃し、イスラエルは今日、攻撃を激化させました。そして、お伝えしますと…皆さん、理解しなければなりません。エースを使ってしまった昨晚から、彼らはもはや勝ち札を持っていません。昨夜からハマスは、もう、何も出来ず、誰も仰天させる事が出来ません。そして皆さん、理解してください。ここで、イスラエルは言いました。

「よし、そちらが始めた…我々が、こちらの選んだタイミングで終わらせる。」

それが、まさに今起きていることです。それは、今後数日続くでしょう。しかし、イランの周りの誰もが理解しています。だから誰も介入しないのです。彼らは皆、勝負が決まっていることを理解しています。皆さん、理解する必要があります。イスラエルは、抑止力を回復するために、激しく攻撃しなければなりません。抑止力は超重要です。他のすべての輩、ヒズボラや、他の場所のシーア派民兵が、我々のことを弱く、彼らがロケットを発射しても、我々は何もしないと、勘違いしないように。皆さん、それを理解しなければなりません。非常に重要です。私たちは、テロリストが住んでいる500棟以上のアパートを攻撃しています。我々は、ハマスのテロリストが、自分たちの土地で逃亡者になる状況を作り出していて、彼らは眠る場所も居場所もありません。そして、彼らが車に乗ると、ドカン！私たちは彼らを攻撃します。私たちが今日したこと、また、我々が今後数日間で行おうとしている事は、驚異的です。私は、そのすべてがすぐに終わると信じています。彼らは、彼らの計画を使



ハマスの所有のロケットは、イスラエルの殆どを網羅。

い果たしましたから。彼らはずっと、自分たちが勝ったと言い、彼らはずっと、自分たちは、エルサレムを解放するためにやって来たと言います。

〈聖書預言とのつながり〉

しかし、皆さんご覧ください。イスラエルが、私たちの作戦に選んだ名前を見てください。意味もなく付けたものではありません。名前は何でしたか？名前は「The Guardian of the Walls (城壁の見張り人)」私たちはガードする！覚えていますか？

6 …わたしはあなたの城壁の上に見張り人を置いた。

(イザヤ 62:6)

ヘブライ語で、“ガード”です。「私たちは、エルサレムの城壁をガードする。」非常に聖書的な名前です。ハマスは、何と自称しているでしょう？「モスクの守護者」「モスクのガード」です。彼らは、イスラム界とパレスチナ人に自分たちの事を、イスラエルからエルサレムを解放するために助けに来た者として、認識させたいのです。ここから、皆さん、聖書の預言に繋がります。ここまで聞いていなかった人は、ここからはよく聞いてください。これはおそらく、最も重要なことです。皆さん、理解しなければなりません。皆さん、理解してください。聖書的に、今はまだ、異邦人が神殿の丘を踏みじめる時代です。イスラエルは、神殿の丘に、文字通り宗教的管轄権を持っていません。皆さん、それを理解する必要があります。それから皆さん、次のことも理解する必要があります。時が来れば… その時は非常に近いです。聖書的に、パレスチナ人は、心配するべきではありません。私たちは、神殿の丘を、占領するつもりはありません。なぜなら、イスラム・ジハード運動がある限り、我々は、第三次世界大戦を避けたいのです。意味がありませんから。ところが、何が起こると思いますか？よく聞いてください。エゼキエル戦争が差し迫っていて、それによって、イスラムのジハード主義者が破滅し、過激イスラム派の国は、すべて無くなります。私の「世界統一宗教の台頭」のメッセージを聞いた方はご存知の通り、残りのイスラム教徒は、ただ良い人になって、善行を行う事だけが求められ、新世界宗教に飲み込まれ、吸収されます。そして、それが扉を開き、反キリストの台頭のためだけでなく、それ以上に、ユダヤ人が神殿を建てることを可能にします。人は、理解していませんが、ユダヤ人が、神殿を建てるのは、唯一、世界の指導者が、彼らにそれを許可した場合のみです。ダニエル 9:27 は、非常に明確です。神殿は建設されますが、7年の大患難の途中で、反キリストが、犠牲の儀式を止めます。言い換えれば、神殿があるだけでなく、犠牲の儀式が再開されます。そして、彼らはそれを阻止されます。皆さん、理解して下さい。エルサレムに神殿があり、そして第二テサロニケが告げている通り、反キリストがその中に入って、自分が神であると宣言します。唯一、その時になってイスラエルは、自分たちの犯した間違いを理解して、そして、彼らは荒野に逃げるのです。私たちは、それを知っています。

さて、私たちに関する限り、私たちはここにいません。私たちは、ここでそれを目撃する事はありません。高い可能性で、私たち信者にとって、皆さんの記憶に残り、皆さんが自分の目で見るのは、現在の神殿の丘です。しかしながら、皆さん、思い出してください。私たちは、7年の終わりに、イエスと一緒にここに戻って来ます。ゼカリヤ書 14章が告げています。

4 その日、主の足は、オリーブ山の上に立ち、すべての聖徒たちも主とともに来る。オリーブ山は、その真ん中で二つに裂け、…

(ゼカリヤ書 14:4)

エルサレムから湧き水が流れ出て、その半分は地中海に、他の半分は死海に流れ、その時、川を流れる水によって、死海が生き返ります。いのちの川です。その時に、メシア、イエシュア、イエスが千年間の千年王国を開始されるのです。皆さん、言っておきますが、その時には、第四神殿が存在します。しかしそれは、ただの象徴的なもので、主が千年間、そこで御座に着いて、統治するための場所です。

〈まとめ〉

ですから、反キリストが、イスラエルに神殿建設を許すまで、この場所は、私たちのものではありません。それは、私たちのものにはなりません。そしてその、ほんの短い期間でさえも…私たちが保持し、神殿を建てる場所は、その神殿が整った瞬間、反キリストが豹変し、ひるがえって、自分が神であると宣言すれば、それで終わり、またしても、そこは私たちのものではありません。終わりです。私たちは居なくなるのです。だから、皆さん、理解する必要があります。もしあなたが、望み、祈り、断食をして嘆きながら、ユダヤ人が神殿の丘を占領し、支配することを要求しているなら、それは、千年王国まで起こりません。ほんの短期間、それが起こりますが、それは偽の神殿、偽の平和で、後に、反キリストの家になります。そういう事です。私は、それを本当の所有権とは呼びません。

エルサレムは、ダビデ王の時代からイスラエルに与えられています。エルサレムは、その後、何度も所有者が変わりました。イエスは、エルサレムに来られ、イエスは、エルサレムで死に、イエスは、エルサレムで復活して、イエスはエルサレムから昇天されました。イエスは、エルサレムに戻って来られ、イエスは、エルサレムに御国を確立されます。だから、「神は、誰にエルサレムをお与えになったのか？」と私に聞かれるなら、やがてそれは救世主、ひとり子に与えられます。そして、私たちが主と一緒に支配し、主と一緒にいて、彼と一緒に統治するのです。これらは美しい事です。しかし、それまでは、コロサイ人への手紙 3 章を覚えておいてください。

- 1 **こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、
上にあるものを求めなさい。**
- 2 **…地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。**

(コロサイ 3:1~2)

私たちの周りで、たくさんの方が起こっています。しかし、私たちの思い、私たちの心、私たちの中のすべてのものは、噂話をしたり、お互いに腹を立て、お互いを潰し合う代わりに、…そのすべてで、私たちは、救いにフォーカスしなければなりません。私たちの魂だけでなく、しかし、それ以上に、体の贖いを望み、祈らなければなりません。ローマ人への手紙 8:28。

私たちはここから出ていき、私たちは変えられ、私たちは主と一緒にになります。私たちは、そういう事を考えなければなりません。聖書は、そこにキリストが、神の右に座を占めておられると告げています。私たちには、キリストの裁きの御座があることを覚えておかなければなりません。私たちは、そこで、私たちの信仰に対する栄冠を受け取ります。そして、私たちには、子羊の婚宴があります。主が世を裁かれる時、私たちは、主と一緒にそこにいます。そして、私たちは主と一緒に戻って来て、千年王国を確立し、私たちは主と一緒にいて、主と一緒に支配します。私たちが、主にお会いする瞬間から…聖書は第一テサロニケ 4 章で告げています。

私たちは、もはや、主から離れることは決してありません。

素晴らしい約束です。しかし、それまでは、私たちがまだここに居て、あらゆる事が起こっています。現在、預言的時間表のどこにありますか？非常に、非常に、非常に簡単です。私たちは今試されている、状態を試されているのです。人々は、イスラエルの準備の出来具合を試しています。イランは試しています。面白くないですか？トルコが、ロシアに行き、国連と国際社会にイスラエルを罰するように求めたのです。彼らはもう、アメリカに行きません。アメリカと話す人はいません。そこには、責任者がいません。つまり、今、ロシアが中東のボ

スに振り返り、今の時点で、ロシアは、イスラエルを許しています。彼らは、イランがこの地域を不安定にする事が、気に入りませんから。しかし、ダマスカスが破壊されるとすぐに、モスクワの“ひとみ”がなくなるとすぐに、その時、イスラエルに攻め込む連合の統率への道は、…すでにその準備が来ていますから、非常に簡単です。

だから、ダマスカスに目を向けておいてください。それが、エゼキエル戦争に火を付けるのです。そして、覚えておいてください。その間、エルサレムの平和のために、祈らなければなりません。イスラエルのために祈り、首相のために祈ってください。ほら、彼らが今、私たちを試している理由の一つは、彼らが、イスラエルの政治的不安定を見ているからです。ネタニヤフは、次の政府を形成しないかも知れず、彼らは、残りがとても弱いことを理解していて、「さあ、彼らを試そう。」と。今回、それは上手く行きません。ですから、繰り返しますが、コロサイ人への手紙 3:1-2、皆さんを励ましたいと思います。皆さん、覚えておいてください。これから、多くの事が起こります。すべてが、すべての終わりを意味するわけではありません。しかしこれらは、”大物”の前に水を試しているのです。もちろん、大物とは、エゼキエル戦争で、私たちは、ここに居てそれを自分の目で見る事はないかも知れません。だから、まもなくこの場所から出ていく事に、私がどれほど興奮しているかが、分かるでしょう。

さて、繰り返しますが、皆さん、テレグラムで私たちをフォローしてください。この後すぐ、その方法をお見せします。それまで、私たちのウェブサイト beholdisrael.org より毎週のニュースレターの登録をお忘れなく。そしてテレグラム、ユーチューブ、フェイスブック、インスタグラム は、Behold Israel 最後にアロンの祝福で締めくくりたいと思います。

ヴェイシエメレハー	アドナイ	イエヴァレフハー
וְיִשְׁמְרֶךָ	יְהוָה	יְבָרְכֶךָ
..(主が)あなたを守られますように	主が	あなたを祝福し

主があなたを祝福し、
あなたを守られますように。

ヴィーフネッカー	エーレーハー	バーナーヴ	アドナイ	ヤーエール
וְיִתְנֶה	אֱלֹהֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יֵאָר
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし

主が御顔をあなたに照らし、
あなたを恵まれますように。

シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	バーナーヴ	アドナイ	イッサー
שְׁלוֹם	לְךָ	וְיִשְׂם	אֱלֹהֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

主が御顔をあなたに向け、
あなたに平安を与えられますように。』

(引用：教師の書斎 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

(民数記 6:24-26)

※ 連続して発音する場合は以下

イエヴァレフハー	アドナイ	ヴェイシエメレハー				
ヤーエール	アドナイ	バーナーヴ	エーレーハー	ヴィーフネッカー		
イッサー	アドナイ	バーナーヴ	エーレーハー	ヴェヤーセーム	レハー	シャーローム

世が与えることができる平和ではなく、主の平安。世は、その平安を与えることはできません。それは世が理解す

らない平安です。全ての理解を超える平安を、平和の主だけが今より永遠に、ここでも、どこでもあなたを与えてくださいます。彼の名前はイエシュア、サル・シャーローム、平和の君、主の御名によってお祈りします。アーメン、アーメン。

それでは次回まで、God bless you! まもなく新しい教えを公開します。「Dead See(死者が見る)私たちのYouTubeチャンネルでご期待ください。「Behold Israel with Amir Tsarfati」(英語)「Behold Israel: 日本語/Japanese」(日本語)

ありがとうございます。I love you! God bless you! さようなら。

2021年5月12日 初回公開



▶ スマートフォンなどのカメラで読み込むと、このメッセージを YouTube で見られます。
◀リンク先: https://youtu.be/_-oB_iQWCMM ▶



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel

<https://beholdisrael.org>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル ▶

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

